

令和5年度

高森町一般会計補正予算（第2号）
概要書

物価高騰対応生活者支援交付金(LPガス支援補助金)

- エネルギー・食品等の物価高騰の影響による経済的負担を軽減するため、LPガス利用世帯を対象に給付金を給付します。

【支給対象者】

高森町内で契約（使用）している世帯（申請日時点）

※法人名及び屋号での契約は対象外。

※LPガスを一時的に止めている場合は対象外。

【支給額】 1契約当たり一律6,000円

【申請方法】

熊本県LPガス協会を通して、申請・給付を実施予定。

【財源】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」
及び熊本県の「物価高騰対応生活者支援交付金」を活用予定（補助率100%）

※申請受付開始日は市区町村において決定
（物価高対策の趣旨を踏まえ、迅速な給付開始を目指すものとする。）



事業費	補助額	一般財源
1,509万円	1,509万円	0円

書かない窓口導入事業

●窓口業務支援システムの導入により、「書かない窓口」を実現します。

【事業の目的】

デジタル技術の進展によりサービスのデジタル化が飛躍的に高まる中、町民がデジタル社会の恩恵を受けられるように、地方自治体の住民サービスについてもデジタル化の推進を本格的に取り組むことが求められている。

⇒役場窓口における「**書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口**」を実現することで、「**誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化**」を目指す。

【事業内容】

窓口業務支援システムの導入により、「書かない窓口」「何度も聞かない窓口」「手続き漏れの無い窓口」を実現。

【対応業務】

- ・各種証明書の受付（住民票・印鑑証明書） ※R5末～
- ・住民異動受付（転入・転出・転居） ※R6～

【財源】

国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用予定（補助率50%）



事業費	補助額	一般財源
2,071万円	1,035万円	1,036万円

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業

- 電力・ガス・食料品等価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対して、1世帯当たり3万円の給付金を支給します。

【支給対象者】

○住民税非課税世帯

基準日（令和5年6月1日）において世帯全員のR5分の住民税均等割が非課税である世帯。

※ただし、租税免除者や住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。

【給付額】 **1世帯当たり3万円**

【給付の方法】

①対象世帯に支給案内通知書、支給拒否届、口座変更届出書を送付する。

②返送期限日までに拒否届の提出がない場合は、受給を承認したものとみなし
過去に同様の給付金を支給した口座への振込を実施する。

（口座変更届出書の提出があった方は、変更後の口座へ支給）

※過去に支給実績がない方や口座登録がない方は、支給口座のコピー提出が必要。



【財源】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用予定（交付上限あり）

事業費	補助額	一般財源
3,181万円	2,350万円	831万円

運送業者等燃料費支援給付金事業

- 新型コロナウイルス感染症の拡大や経済情勢の変動による原油価格の高騰の影響を受けた道路貨物運送事業者に対し、燃料費を助成します。

【事業の目的】

新型コロナウイルス感染症の影響や経済情勢の変動による原油価格の高騰の影響を受けた道路貨物運送事業者に対し、事業活動の継続を支援するため予算の範囲内で燃料費を助成する。

【事業内容】

交付対象者が所有する対象車両の台数に、次の表に定める給付額を乗じて得た額を助成する。
(1事業者当たり50万円上限)

対象車両の種類（最大積載量）	1台当たりの給付金の額
中・大型貨物車両（4 t 以上～）	44,000円
小型貨物車両（4 t 未満）	21,000円

【財源】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用予定（補助率100%）

事業費	補助額	一般財源
250万円	250万円	0円

リーディングDX事業

●文部科学省管轄の事業を活用し、高森町の教育DXを高度化します。

【事業の目的】

「**児童生徒の確かな学びの育成**」及び既に全学校で整備が完了している1人1台端末とクラウド環境を活用した「**効果的な教育実践の創出・モデル化による教育のDX化**」を更に進め、**業務効率化による教職員の働き方改革の推進**を目指す。

(全国に先駆けて高森町が実践する「教育DX」に関する取組みをさらに推進)

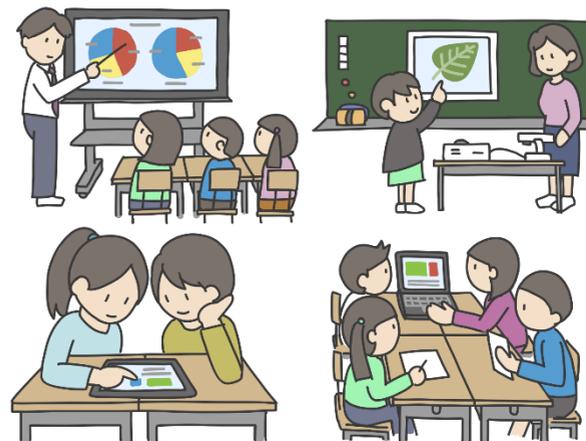
【事業内容】

①事例創出事業

効果的な教育実践の創出・モデル化
 ⇒外部有識者と学校現場との連携強化
 教職員の先進地視察及びスキルアップ

②学校DX推進コーディネーター等の配置

学校教育推進アドバイザーとの連携協会の設置



【財源】

国の「リーディングDXスクール事業」を活用予定 (補助率100%)

事業費	補助額	一般財源
252万円	252万円	0円

横町子ども公園スターテント購入

- 横町子ども公園に、休憩スペースとしてスターテントを設置します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「教育・観光施策」に合致する事業であり、R4に整備した「横町子ども公園」において、遊具を利用している子どもを見守る保護者や、ウォーキングで汗を流している利用者が日陰で休憩できるスペースを確保するため、グランピング等で活用されている「スターテント」を設置し、利用者の利便性の向上を図る。

【事業内容】

基礎の不要なスターテントを設置することによるメリット

①台風時の撤去や災害時には避難所にて設置が可能

常設ではないため、台風時には撤去したり、有事の際には移設することができる。

②熱中症対策

夏を迎えるにあたり、遊具で遊ぶ子どもたちを日陰で見守ることができる。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
50万円	50万円	0円

ふるさと応援新文化事業

- 「豊かでゆとりある心」を共感していただくためのコンサートを開催します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「観光施策」に合致する事業であり、長きにわたり音楽等を含む文化事業を実施してきたが、R4からは「風の町コンサート」として月1回、国内の有名演奏者による管弦楽器コンサートも開催しており、SNSを通じて熊本市や他自治体からの来町者も増加している状況も踏まえ、「豊かでゆとりある心」を共感していただくためのイベントを開催し、一流演奏者と地元のコーラスグループとコラボ等を行い、「**音楽の町たかもり**」としての魅力を発信する。

【実施予定】

R5. 10月中の実施を予定

※イベントの詳細が決まり次第、日程等についても周知を行います。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
200万円	200万円	0円

ふるさと応援グリーンツーリズム観光資源創出事業

- グリーンツーリズムの促進につながる事業にかかる経費を助成します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「観光施策」に合致する事業であり、R4に引き続き、「グリーンツーリズムの促進」を図るため、花や樹木、自然景観を活用した「観光資源創出」に係る経費に対して助成する。

【事業の要件】

- ・年間500人以上の観光入込客数が見込めること。
- ・補助事業終了後も継続して誘客を行える観光資源であること。

【対象者】

- ・高森町に活動拠点を有している町内の団体であること。
- ・団体としての活動実績が1年以上あること。
- ・町民の5人以上が構成員となっていること。
- ・営利、政治又は宗教に関する活動を目的としないこと。

【補助額】

10/10を助成（上限額250万円）

※対象経費の例：公園や街路等に桜や紅葉（花）などの植樹を行う経費など



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,000万円	1,000万円	0円

高森オープンタウン(通いの場対抗ボッチャ等)

●R4に引き続き、通いの場対抗ボッチャ大会・UDeスポーツ体験を実施します。

【事業の目的、現状と課題】

ふるさと納税の使途意向に沿った「住民福祉施策」に合致する事業であり、これまで、県の「介護予防拠点整備事業（100%補助）」を活用して整備してきた各地区公民館等は現在、「通いの場」として44箇所が活動しているが、コロナ禍における高齢者の外出自粛による閉じこもりの増加や交流機会の減少が顕著になっていることを踏まえ、「介護予防」や「健康維持」のため、通いの場を活性化させる必要がある。

【対策】

- ・「通いの場」活動の目標の1つとして、通いの場対抗ボッチャ大会・UDeスポーツ体験を開催する。
- ・各地区交流戦などを随時開催し、大会に向けた機運を高める。
- ・頭の体操として、UDeスポーツに取り組み、将来的には大会開催を目指して「通いの場」の活性化を図る。

※UDeスポーツ：ユニバーサルデザインのeスポーツのこと。
高齢者や障がい者でも参加できるコンピュータゲームスポーツ。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
150万円	150万円	0円

ふるさと応援優良子牛保留奨励品評会賞金

- 本町の畜産振興を図るため、町主催の品評会で優秀な成績を収めた畜産農家を支援します。

【事業の目的、現状と課題】

ふるさと納税の使途意向に沿った「産業振興施策」に合致する事業であり、60年以上の歴史を持つ高森町優良子牛保留奨励品評会について、畜産農家の減少や高齢化に伴い年々出陳数が減少傾向にあり、畜産農家への声掛けや出陳賞の増額などの対策を行ってきたが、歯止めがかからない状況となっていることを踏まえ、**出陳数の増加につなげるための支援を実施**することで、高森町の更なる畜産振興を図る。

【事業内容】

- ・グランドチャンピオン 100,000円×1頭
- ・優等賞 50,000円×3頭
- ・一席 30,000円×4頭
- ・二席 20,000円×4頭
- ・三席 10,000円×4頭



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
49万円	49万円	0円

ふるさと応援農業土壌改良事業

- アグリセンターで生産した堆肥の購入補助を行います。

【事業の経緯】

ふるさと納税の使途意向に沿った「産業振興施策」に合致する事業であり、新型コロナウイルス感染症の影響により農産物の価格が下落するなどして、農家の方々の経営が悪化している状況を踏まえ、令和2年度に「新型コロナ対応臨時交付金」を財源として実施した本事業をR5も継続して実施する。

【事業内容】

優良な農作物の生産のため、アグリセンターで生産する堆肥をより多くの町内農家の方々に使用していただくよう購入費用を助成する。

補助率：購入費の1/2

(刈干5,000円⇒2,500円、混合3,000円⇒1,500円)

【注意事項】

※購入上限は‘農業所得のある’1経営体あたり8tまでです。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
150万円	150万円	0円

ふるさと応援集落営農支援事業

- 農事組合法人において、集落営農に取り組むための整備に対して支援を行います。

【事業の目的、現状と課題】

ふるさと納税の用途意向に沿った「産業振興施策」に合致する事業であり、
農業者の高齢化や担い手不足により、法人化に向けた動きが盛んである一方で、法人化しても耕作条件が悪いことにより、本来の目的である集落営農の妨げになっていることを踏まえ、町内の農事組合法人が集落営農に取り組む農地の中で、他の基盤整備事業等を活用していない場合において、簡易的な基盤整備（畦畔除去、農業用施設整備等）を支援し、集落営農の推進を図る。

【事業内容】

簡易的な基盤整備（畦畔除去、農業用施設整備等）



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
320万円	320万円	0円

ふるさと応援農地耕作条件改善事業

●耕作に支障をきたす未整備の農道を整備します。

【事業の目的、現状と課題】

ふるさと納税の使途意向に沿った「産業振興施策」に合致する事業であり、近年、農業機械等の大型化が進み、従来の農道では狭小となっていることに伴い、やむを得ざる耕作放棄地となる農地も増加していることを踏まえ、未整備の農道を整備することにより耕作条件の改善を図り、耕作放棄地の解消にも繋げるため、狭小農道の拡幅、未舗装農道の舗装を実施する。

【事業内容】

町が示した条件に合う農道を選定し、工事を実施。
(R3に実施したモデル事業の横展開)

【主な対象条件】

- ・受益面積1ha以上（特定農山村地域では0.5ha以上）
- ・関係耕作者数2戸以上
- ・耕作放棄地解消の場合は施工後5年間の耕作者の確保及び当該地で営農する旨の確約が得られること（耕作放棄地解消補助事業あり）
- ・関係者等の全ての承諾が得られていること



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
540万円	540万円	0円

高森町PRコンテンツ制作委託料

- BS日テレとコラボをし高森町をPRするため、アニメ「邪神ちゃんドロップキック」のアニメ動画を制作します。

【事業の内容】

原作は累計100万部を超えるマンガで、TVアニメ化がされており、公式YouTube登録者数21万人、Twitter8.8万人と絶大な人気を博しているアニメとなっている。

「東京アニメアワードフェスティバル2023」においては、**約400作品中1位**を獲得。これまでに、北海道千歳市などの自治体でクラウドファンディングを活用し、観光PRアニメの資金を募った結果、自治体のふるさと納税への収益増加もしている。今回、この人気アニメ「邪神ちゃんドロップキック」とBS日テレ、高森町とのコラボが決定し、高森町を舞台としたスピンオフ版「邪神ちゃんドロップキック世紀末編」として、実際にアニメのキャラクターが高森を訪れるアニメが制作される。

【事業の効果（見込み）】

- ・邪神ちゃんのライセンスを活用し、「邪神ちゃんドロップキック」コラボ商品として、ふるさと納税返礼品の開発を行う。
- ・町の認知度向上並びにアニメの聖地としての観光誘客を実現する。



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
4,400万円	4,400万円	0円

花火打上委託料

- 新型コロナの規制のない風鎮祭の完全実施に合わせた花火に関する経費を計上します。

【事業の目的】

ふるさと納税の用途意向に沿った「観光施策」に合致する事業であり、イベント等で行う打上花火について、「**原材料価格高騰**」や「**製造に使用する電力等の大幅な値上げ**」の影響を受けて、通常の2/3の本数しか打ち上げられない状況であることを踏まえ、**新型コロナウイルス感染症の5類引き下げによる行動制限等のない風鎮祭の完全実施に華を沿えるため、通常**の打上本数+ α での打ち上げができるように助成する。

【実施予定】

風鎮祭：8月18日（金）20時より30分間の予定

※実施日については、詳細が決まり次第、周知致します。



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
152万円	152万円	0円

外国人観光客受入基盤整備事業補助金

- 外国語表記等の整備など受入基盤を新たに組み込む事業者に対し助成します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「観光施策」に合致する事業であり、アフターコロナ期の外国人観光客の受入整備の充実を図るため、町内の宿泊施設、観光施設、飲食施設、土産品店その他外国人観光客が観光目的で利用できる施設が、受入基盤整備を通じた訪問時や滞在時の利便性向上を図る。

【事業内容】

外国人観光客受入体制充実のために新たに設置しようとするものであって、初期設置に係る費用のみを補助対象とし、維持管理費は対象外とする。

(例) 施設内の公衆無線LAN、自社ウェブサイトの多言語化、翻訳システムの導入、案内表示の多言語化、業務効率化のためのタブレット端末の整備 等

【補助率】

補助対象経費の1/2を補助 (1事業者あたり20万円上限)



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
60万円	60万円	0円

観光コーディネーター養成講座助成金

- 「観光コーディネーター養成講座」を通し、知識及び接遇向上等、おもてなし能力向上のための官民連携の人材育成を支援します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「観光施策」に合致する事業であり、新たな観光コンテンツやサービス等を造成する「観光」を担う人材の育成・発掘を行い、**観光による地域創生を推進**する。

【事業内容】

観光業界のトップランナーや地域で活躍するプレイヤーを講師に迎え、最先端の観光地域づくりの考え方や、先進地域の成功事例など、知識や接遇向上、おもてなし能力向上のための官民連携による地域住民の観光コーディネーターを養成する。

【その他】

全5回の講義を予定



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
20万円	20万円	0円

ふるさと応援世界文化遺産景観保全事業

- 町が設置しているカーブミラーを景観配慮型(焦げ茶色)に更新します。

【事業の経緯、目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「施策」に合致する事業であり、熊本県と阿蘇郡市7市町村は、阿蘇の世界文化遺産登録に向けて協力連携して推進するため、H21.8月に阿蘇世界文化遺産登録推進協議会を設立し、H29.10月には阿蘇地域の草原や農村の景観が国文化材の「重要文化的景観」に選定されたことを背景に、県下全域で公共施設(道路、河川等)の景観に配慮した工事を行っており、ガードレールや標識等については、老朽化や破損等により景観を損なっているものや周囲の景観と調和していないものを景観配慮型に更新する。
(高森町のR4実績：27路線、105箇所更新完了)

【事業内容】

昨年度に引き続き、経年劣化したカーブミラーを景観配慮型に更新する。

【R5対象区域】

色見、上色見地区を重点的に40箇所程度

(今後も年次計画により実施予定)



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,000万円	1,000万円	0円

ふるさと応援物資輸送車両導入事業

- 防災及び住民福祉の向上等のため、物資輸送車両を導入します。

【事業の目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「防災・住民福祉施策」に合致する事業であり、**災害時等の物資輸送**のため物資輸送車両を導入する。

【事業の経緯】

現在の物資輸送車は、H3に購入された給食運搬車を転用して利用していたが、購入後25年が経過し、老朽化が激しくなっている状況である。

⇒災害等有事の際、確実に物資の輸送が行えるよう、新たに物資輸送車を導入する。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
610万円	610万円	0円

ジュニア防災検定受験料

●子どもたちの「防災力」を養い、将来を担う地域の防災人材の育成に取り組みます。

【目的】

ふるさと納税の使途意向に沿った「教育施策」に合致する事業であり、子どもたちが日頃から防災と減災に深い関心を持ち、意識を高め、自ら考え判断し行動できる「防災力」を身に付けるため、防災検定に係る経費を助成する。

【内容】

「筆記試験（初級・中級・上級）」「家族防災会議レポート」「防災自由研究」で構成。
⇒合格基準に満たなかった場合でも「再チャレンジ制度（無料）」の機会が提供される。

【事業費】

- ・初級（小4～小5程度）：2,100円×42名＝88,200円
- ・中級（小6～中1程度）：3,000円×49名＝147,000円
- ・上級（中2～中3程度）：3,000円×46名＝138,000円

※毎年、小4～5・小6・中2にて受検を想定。



事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
38万円	38万円	0円

新生・高森町タブレット図書館設置事業

- 学校教育に提供していたタブレット図書館を、高森町民向けに展開します。

【事業の経緯】

ふるさと納税の使途意向に沿った「教育・住民福祉施策」に合致する事業であり、これまで「**児童・生徒用**」として学校教育に提供していたタブレット図書館を、新たに『**全町民向け**』にリニューアルし、運用を開始する。

【事業の内容】

- ・TRC-DLマガジン（一般図書、青空文庫、雑誌、児童生徒向け図書）、熊日コンテンツなど約4,800冊を提供予定。（R5中には約1万冊の貯蔵を予定）
- ・個人のデバイス（スマホ・PC・タブレット）から「いつでも・どこでも」閲覧が可能。
- ・デバイスを持っていない町民には、町所有のタブレットPCを無償で貸出し。
⇒ただし、インターネット環境や故障時は個人負担。
- ・公共施設や地域の公民館等で、「誰もが利用できる環境」を整備する。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,065万円	1,065万円	0円

高森町エンタメチャレンジスクール事業

- 「演劇」を目指す若者を対象に、一流講師や演者等と触れ合う機会を創出し、夢への挑戦を支援します。

【事業の目的】

エンタメ業界と連携した取組みを更に発展させるため、若者を対象としたエンタメ人材の育成を実施することで、将来の担い手を育成するとともに観光をはじめとする阿蘇地域高森町への波及効果を創出することで、地域産業の実現を目指す。

【096kクラブワークショップの実施】

若者を対象に、プロの演劇・殺陣講師や096k熊本歌劇団を講師として招き、演劇やダンスなどの基礎トレーニングや表現力の向上を目指したワークショップ等を実施する。

実施場所：町内及び熊本県内会場予定

対象：5～18歳

実施回数：年度内30回程度予定

【財源】

熊本県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用予定。

(補助率3/4)



事業費	補助額	エンタメ業界と連携した まちづくり推進基金	町負担
541万円	405万円	136万円	0円

096kリンケージ「ワールド」プロジェクト

- 町の更なる活性化と魅力向上に繋げるため、地域おこし活動を行う劇団員を継続的に支援します。

【事業の目的】

これまで、高森町×096k「絆」プロジェクトとして、096k熊本歌劇団の認知度向上と地域おこし活動の支援を目的とした各種グッズやPR用服飾等に加え、高森町PR車両の導入等を行ってきた。

今回、フランスで開催される『JapanExpo2023』に096k熊本歌劇団がメインステージメンバーとして出演。漫画部門（北条司氏）で招待され、併せて096K熊本歌劇団も出演が決定した。

JapanExpoはヨーロッパ圏最大の日本関連イベントで、例年25万人以上の入場が見込まれ、中でも、漫画・アニメを期待して世界中から来場される方が大半を占める。

この千載一遇のチャンスに熊本県がこのプロジェクトをバックアップすることが決定し、同時に高森町への支援要請もあったことから今回町としても協同してブースを出展。

ステージでは、096K歌劇団の演劇をとおして熊本県及び高森町の観光情報及びコンテンツを発信する。また、同時期に南阿蘇鉄道的全線運転再開も控えており、ヨーロッパ圏へPR出来る絶好のチャンスであり、熊本県、高森町の知名度アップ、多くの誘客が見込める。



【第4章「096kリンケージ「ワールド」プロジェクト】

熊本県観光連盟への負担金として支出（熊本県も同額を負担）

（PR内容）・ブースにおける観光情報及び漫画コンテンツ等に係るPR（県内、高森町観光情報/南阿蘇鉄道全線運転/096K歌劇団）

・JapanExpo2023会場内の「観光エリア」でのPR

※096Kは、聴衆5,000人規模及び1,000人規模の2ステージ計4回出演。
熊本県でもくまモンが招待されているが、1回確定している事と比較しても破格の対応。

事業費	補助額	エンタメ業界と連携したまちづくり推進基金	町負担
1,400万円	0円	1,400万円	0円

予算書P18

ONEPIECE × 南阿蘇鉄道観光活性化実行委員会負担金

- ワンピース熊本復興プロジェクトの一環として、南阿蘇鉄道の全線再開を機に、人気漫画「ONE PIECE」と南阿蘇鉄道のコラボ列車を運行します。

【事業の目的】

熊本地震から7年3か月ぶりとなる南阿蘇鉄道の全線再開を機に、人気漫画「ONE PIECE」と南阿蘇鉄道のコラボ列車を運行し、南阿蘇鉄道のファンのみならず、全世界のONE PIECEファンへ向けた創造的復興のPRを行うことにより、南阿蘇地域への観光誘致へ繋げる。

【事業内容】

R4に全額熊本県の負担によりONEPIECEコラボ列車を制作。
R5は運行に係る年間ロイヤリティ（著作権料）を熊本県1/2、高森町及び南阿蘇村それぞれ1/4を負担する。

【財源】

熊本県負担分については、熊本県の「熊本地震復興基金交付金」より市町村へ補助。



事業費	補助額	南阿蘇鉄道復興応援基金	町負担
1,100万円	550万円	550万円	0円

高森町こうのとりのり支援事業

- 次世代育成の推進を図るため、「不妊・不育治療」にかかる医療費負担を軽減します。

【事業の経緯】

H28より制度を開始し、年々件数は増加傾向にある。
例年3件程度申請があり、第2子以降の申請も増えている。

【事業内容】

以下の要件を満たす夫婦1組あたり、**年間20万円を上限に治療費を補助**する。

- ①高森町に住民票のある夫婦
- ②婚姻後1年以上経過していること
- ③同一世帯に町税等の滞納がないこと
- ④国民健康保険又は各種社会保険に加入していること
- ⑤妻の年齢が43歳未満であること

【その他】

特定不妊治療以外の保険適用外の不妊関連治療に対しても助成。
H30より第2子以降の不妊治療に対しても補助を実施。



事業費	未来のまちづくり事業継承基金	町負担
80万円	80万円	0円

柏塚南側町有地駐車場整備事業

- 下町地区の町有地を柏塚墓地の駐車場として整備します。

【現状と課題】

下町地区の犬魂碑周辺は以前より、**駐車場等の整備を要望する声が多く届いていたが、町有地ではないために着手できないまま現在に至っている。**

⇒今年度、阿蘇広域行政事務組合より土地の無償譲渡されるため、今回整備を実施するもの。

【事業内容】

昨年度、湧水トンネル公園のリニューアルを行い、今後、アフターコロナにおける観光入込客数の増加も見据え、**犬魂碑周辺を鉄鋼スラグで整備**することにより、不足が懸念される湧水トンネル公園の臨時駐車場としてだけでなく、**様々な用途として汎用性を持たせた土地活用が可能**となる。



事業費	補助額	一般財源
129万円	0円	129万円

NTTドコモ鉄塔敷地整備事業

- 情報格差是正のため、山東部に設置しているNTTドコモの鉄塔敷地を整備します。

【現状と課題】

高森町が設置しているNTTドコモの鉄塔10カ所のうち、高尾野、大畑、牧戸地区の鉄塔敷地について、舗装箇所以外から雑木や雑草が生い茂っており点検業務等に支障をきたしている。

【事業内容】

NTTドコモとの契約上、敷地の整備は町が実施することとなっているため、点検業務等がスムーズに遂行できるよう、**安価で長期間の保全が可能な鉄鋼スラグによる整備を行う。**

【事業費】

3,000,000円（1,000,000円×3カ所）



事業費	補助額	一般財源
300万円	0円	300万円

移住・定住支援住宅確保プロジェクト

- 町外から移住・定住する方への安心・安全な住宅提供と、南阿蘇地域からの人口流出を防ぐことを目的として、新規賃貸住宅建設者に補助金を交付します。

【現状と課題】

町内に様々なアパート等が存在するが、現時点でほとんど空室がない状況であり、高森・南阿蘇地域からの流出を防ぐための受け皿が必要である。

【補助対象事業】 以下の要件をすべて満たすもの

- ・ 高森町内に建設する賃貸住宅建設事業
- ・ 令和6年3月21日までに施行を完了する賃貸住宅の建設事業
- ・ 家族向け(1戸当たり13坪以上)で10戸以上の賃貸住宅の建設事業
- ・ 建築基準法に基づく基準をクリアした賃貸住宅建設事業

【補助率】

1/2 (10戸以上は上限1,000万円)

【財源】

「移住・定住対策に要する経費」として50%が特別交付税措置



事業費	補助額	一般財源
1,000万円	0円	1,000万円

旧河原小グラウンドヘリポート整備工事

- 旧河原小学校グラウンドをヘリポートとして整備します。

【現状と課題】

旧河原小学校グラウンドは、高森町地域防災計画において「河原地区の緊急時ヘリポート」として登録されているが、現在はグラウンドのままとなっていることから、ヘリの離着陸時に大量の砂を巻き上げ、業務に支障をきたす恐れがある。

【対策、事業内容】

R4に旧尾下小学校グラウンドをヘリポートとして整備した際と同様の工法で整備。

- ・ 進入路 ⇒ 鉄鋼スラグ舗装
- ・ 離着陸箇所 ⇒ コンクリート舗装

【財源】

緊急防災・減災事業債を借入れ予定。
(交付税措置率70%)



事業費	緊防債	交付税措置額	町の実質負担
269万円	260万円	182万円	87万円

奥阿蘇キャンプ場管理棟等塗装事業

- 奥阿蘇キャンプ場の管理棟及び炊事棟の塗装を実施します。

【現状と課題】

H6に開業し、約30年が経過した奥阿蘇キャンプ場の管理棟及び炊事棟は、経年劣化による壁の腐食や塗装の剥がれが著しく、景観を損ねるだけでなく安全を担保できない状況にある。

【対策、事業内容】

屋根・外壁・テラスの全てを塗装により更新

⇒施設の長寿命化により、**キャンプブームによる利用者の増加に対応**するとともに、**アフターコロナにおける観光客受入れ体制を構築。**

【財源】

公共施設等適正管理推進事業債を借入れ予定。
(交付税措置率50%)



事業費	公適債	交付税措置額	町の実質負担
663万円	590万円	295万円	368万円

千本桜テングス病対策委託料

- 九十九曲がり千本桜に蔓延している「サクラ類テングス病」の対策事業として整備します。

【現状と課題】

サクラ類テングス病は、カビの一種が原因で発生する伝染病で空気中に飛んで感染していき、感染すると花が付かず樹勢が衰えていき、サクラの木が枯れる原因になる。

⇒高森峠のお花見広場及び沿線に蔓延しているテングス病の

被害部を除去し、桜の長寿命化を図り、アフターコロナを見据えた観光地・観光産業の再生に向けて魅力のある高森峠として整備する。

【事業内容】

高森峠のお花見広場及び九十九曲がりのサクラ約100本の「テングス病」被害部の除去。

※今後も5年に1回のサイクルで整備が必要。



事業費	補助額	一般財源
37万円	0円	37万円

高森町教育改革10年史

- これまで積み上げてきた「高森町新教育プランに基づく教育改革」の実践と将来の子どもたちに誇れるまちづくりをベースとした人材育成の取組みを記録化します。

【事業の目的】

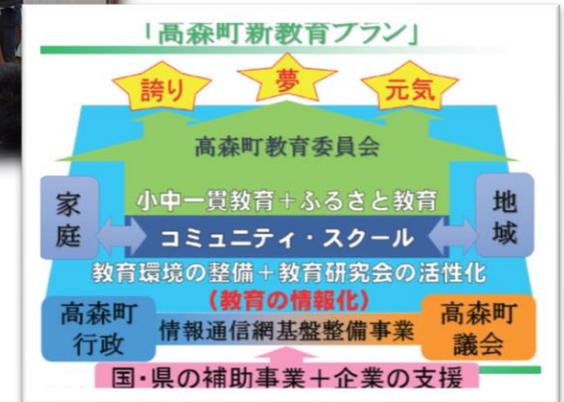
平成24年度から12年に渡り「高森町新教育プラン」の下、取り組んできた教育行政の過程や取組内容とその成果を確実に記録化し、今後の教育行政の施策立案、発展に向け活用する。

【記録内容】

- ①高森町新教育プラン内容
- ②教育施策等取組年表
- ③教育関係者インタビュー

【経費】

高森町教育改革10年史制作業務委託及び印刷



事業費	補助額	一般財源
249万円	0円	249万円